

2026年2月12日

関係各位

マネックス証券株式会社

## 2月13日は「NISAの日」NISAに関する社内データを公表

## ～ドコモ経済圏の個人投資家は少額から着実に資産形成を開始～

マネックス証券株式会社（本社：東京都港区、取締役社長執行役員：清明祐子、以下「マネックス証券」）は、2月13日（金）のNISAの日を控え、マネックス証券社内のNISA口座のデータを公表いたします。

### 【調査結果要旨】

- ・NISAの稼働口座は2025年1月の段階では55%だが、12月には67%。（1-1）
- ・dアカウント®連携をしている口座はNISA口座の開設率も口座稼働率も非連携に比べて高い。（1-2）（1-3）
- ・2025年12月のつみたて投資枠での積立金額は、つみたて投資枠をフルで利用して積立を行っている個人投資家が1/4。積立額が3万円未満の割合は41%となり、少額からコツコツと積立を行っている個人投資家が多い。（1-6）
- ・マネックスカードとdカード®のクレカ積立傾向を比較すると、dカードでは積立金額が3万円未満の割合が43%と少額投資の個人投資家が多いのに対し、マネックスカードでは月間で上限の10万円を設定している個人投資家が41%。ドコモ経済圏から投資への一歩を踏み出した個人投資家が、少額からしっかりと積立を行っている。（1-8）、（1-9）
- ・NISA口座でポイント投資を行っている個人投資家の月間の利用ポイント数は、1万ポイント以上5万ポイント未満の割合が一番多い29%。（1-10）

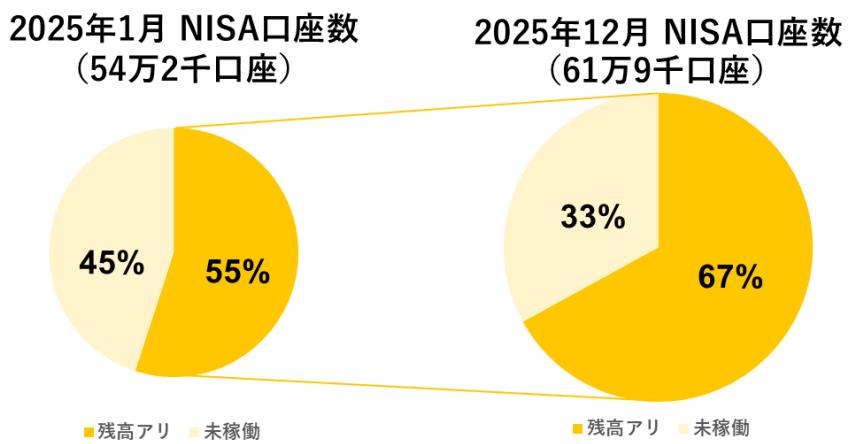
## 【1.マネックス証券での取引実績】

2025年の取引データを調査し、見えてきた傾向を発表します。

マネックス証券の証券総合取引口座とdアカウントを連携している口座をドコモ経済圏にいる顧客と定義しています。

### 1-1 NISA の稼働口座割合

#### NISA稼働口座の割合

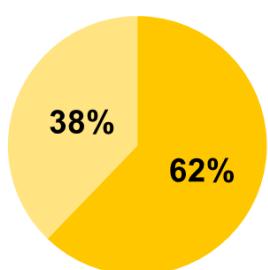


NISA口座は2025年1月の段階で54.2万口座だったものが12月には61万9千口座となり、年初に口座開設が増えることも影響し、稼働口座数は2025年1月の段階では55%ですが、12月には67%となりました。NISA口座の新規開設者は投資未経験の割合が高いのですが、年末に行くに従い稼働口座が増えているということは、開設した個人投資家がしっかりと資産形成をスタートさせたことが見て取れます。

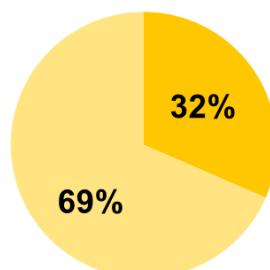
### 1-2 dアカウント連携の有無によるNISA口座開設率比較

#### 2025年1月以降の口座開設者のNISA口座開設率 (12月末時点)

##### dアカウント連携あり



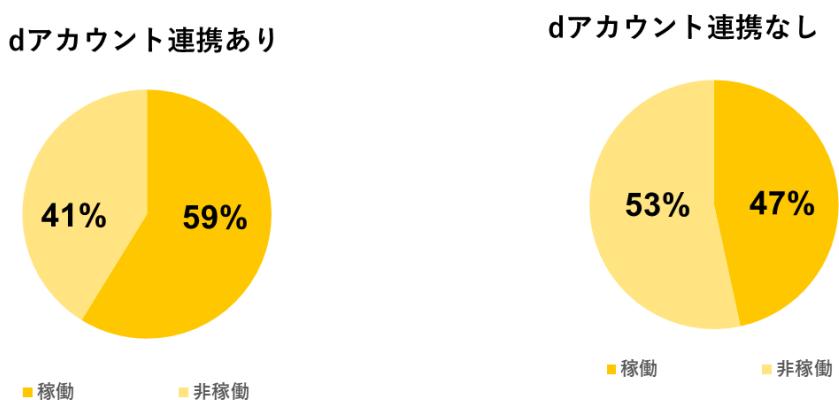
##### dアカウント連携なし



2025年にマネックス証券で口座を開設した個人投資家のNISA口座開設率をdアカウント連携の有無で比較すると、dアカウント連携ありだとNISA口座の開設率が62%と、dアカウント連携なしに比べて圧倒的に高いという結果になりました。ドコモ経済圏の投資未経験者層がマネックス証券で口座を開き、NISA口座も開設していると考えています。

#### 1-3 dアカウント連携の有無によるNISA口座稼働率比較

### NISA口座稼働率比較（2025年1月以降の開設口座）



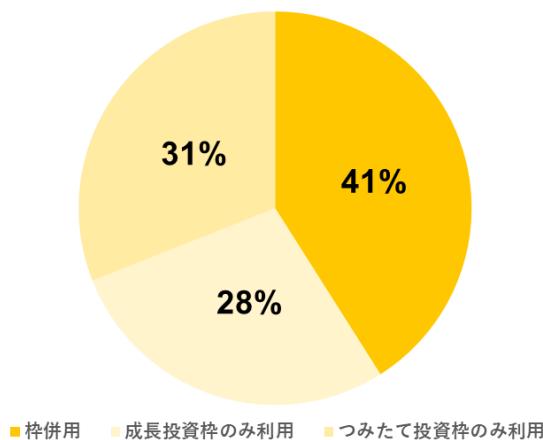
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



2025年1月以降に開設されたNISA口座の稼働率をdアカウント連携の有無で比較すると、dアカウント連携をしている口座の稼働率の方が高いという結果となりました。ドコモ経済圏で口座を開設した層は、開設するだけでなく、そこからしっかりと資産形成への一歩を踏み出していることがうかがえます。

#### 1-4 NISA口座の利用内訳

### NISA口座の利用内訳（2025年12月）



COPYRIGHT © MONEX, Inc.

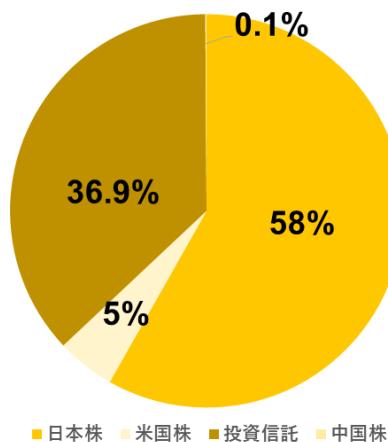


成長投資枠、つみたて投資枠両方の枠を利用している個人投資家は41%となりました。つ

みたて投資枠のみの個人投資家の割合が徐々に減っています。株価の上昇もあり、積立にプラスして成長投資枠でも投資を行った個人投資家が増えていることがうかがえます。

#### 1-5 成長投資枠での購入商品

### 成長投資枠で購入している商品



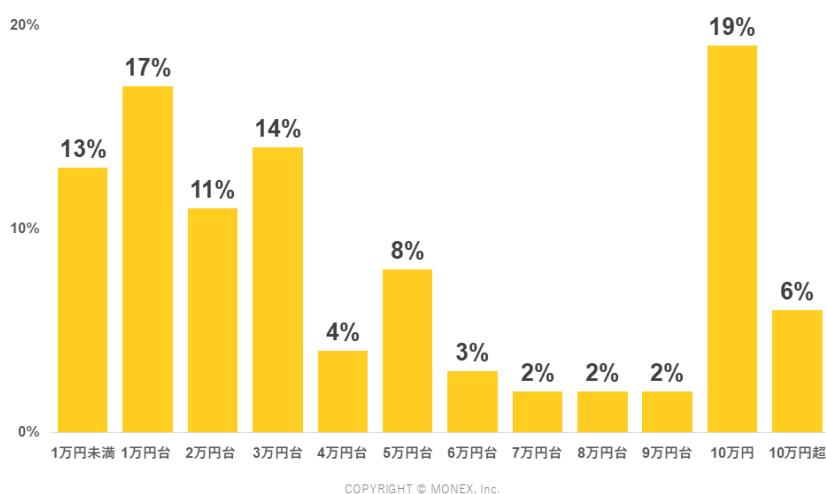
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



成長投資枠での購入商品は購入金額ベースで 58%が日本株となりました。日経平均株価が上昇し、日本株の相場が活況だったことも手伝って、日本株の NISA 口座での買付が好調だったことがうかがえます。市場が長期的に成長していく成長投資枠でないと購入できない米国株への投資も積極的に促していきたいと考えています。

#### 1-6 つみたて投資枠で積み立て状況（NISA 口座全体）

### つみたて投資枠での積立状況（2025年12月）



COPYRIGHT © MONEX, Inc.

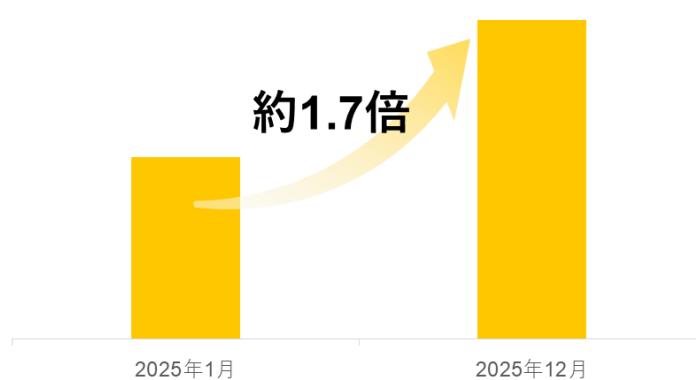


2025 年 12 月のつみたて投資枠での積立金額を調べたところ、ボーナス設定などを含め、つみたて投資枠をフルで利用して積立を行っている個人投資家が 1/4 という結果となりました。旧 NISA でのつみたて NISA の上限（33,333 円/月）に近い金額設定のまま、特に金

額変更せず地道に積立を行っている個人投資家も一定数いるようですが、積立額が3万円未満の割合が41%となり、少額からコツコツと積立を行っている個人投資家が多いということが分かります。

#### 1-7 NISAでのクレカ積立利用者

### NISAでのクレカ積立利用者



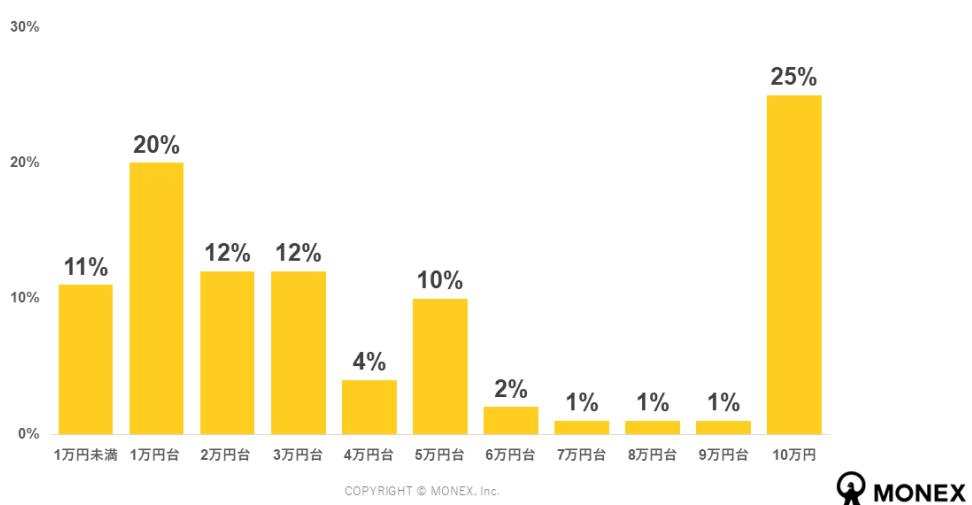
COPYRIGHT © MONEX, Inc.



NISA口座での投資信託購入にクレジットカードを利用するクレカ積立の利用者は、1年で約1.7倍となりました。2024年7月からdカードでクレカ積立ができるようになったことが、NISAでのクレカ積立利用者増に大きく寄与しています。

#### 1-8 dカードでのクレカ積立利用状況(NISA口座)

### dカードでのクレカ積立状況(2025年12月)

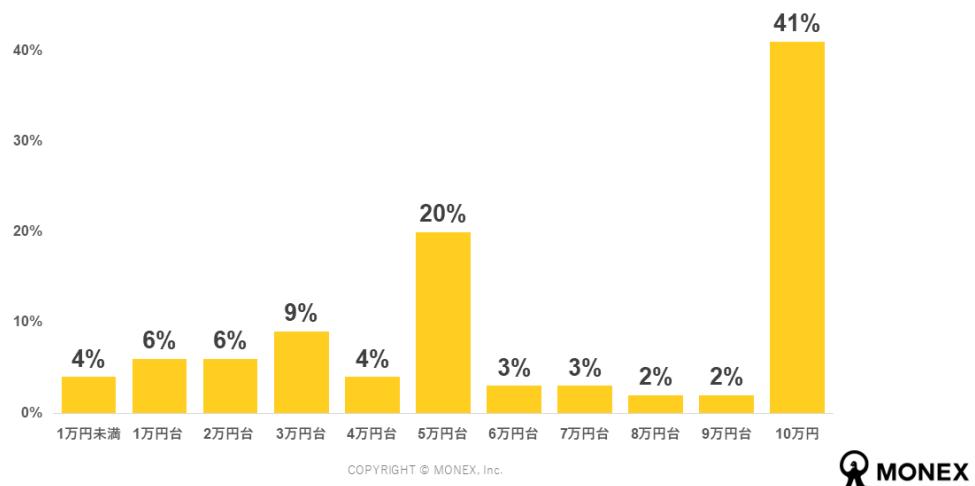


COPYRIGHT © MONEX, Inc.



### 1-9 マネックスカードでのクレカ積立利用状況（NISA 口座）

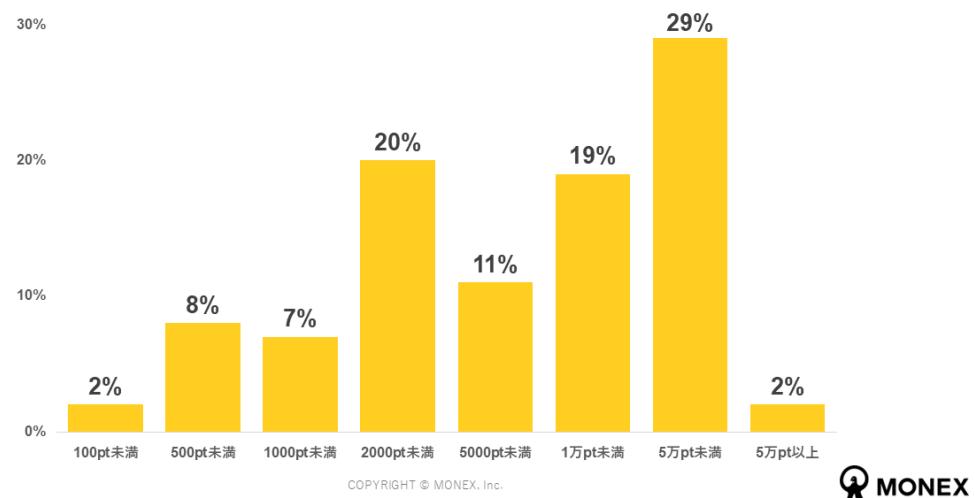
#### マネックスカードでのクレカ積立状況（2025年12月）



NISA 口座でのクレカ積立の積立金額はどちらも上限をフル活用して資産運用しているという傾向が表れていますが、それぞれの傾向はマネックスカードと d カードで異なる結果となっています。d カードでは積立金額が 3 万円未満の割合が 43%と少額投資の個人投資家が多いのに対し、マネックスカードでは月間で上限の 10 万円を設定している個人投資家が 41%となりました。10 万円に上限が引き上げられる前の 5 万円の設定で積み立てている個人投資家もマネックスカードでは 20%と 10 万円に次いで高くなっています。ドコモ経済圏から投資への一歩を踏み出した個人投資家が、少額からしっかりと積立を行っている様子がうかがえます。

### 1-10 ポイント投資での d ポイント利用状況

#### NISAでのdポイント投資利用分布（2025年12月）



NISA 口座でポイント投資を行っている個人投資家の月間の利用ポイント数を調査したところ、1 万ポイント以上 5 万ポイント未満の割合が一番多い 29%となりました。マネック

ス証券でのクレカ積立には d ポイントの期間・用途限定ポイントも利用できるということもあり、マネックス証券以外でたまたまポイントもポイント投資に転用している個人投資家も増えているようです。2,000 ポイント未満のポイント利用者も 37%おり、ポイント数がそこまで多くなくても少しづつ投資信託の購入の足しにしてポイントを活用している個人投資家が多くいることが分かります。

## 【2.マネックス証券での NISA 人気銘柄】

マネックス証券の NISA 口座で取引された人気銘柄トップ 10 と、それぞれの銘柄の 2025 年の成績を調査しました。

### ■概要

2025 年の取引人数が多かった銘柄トップ 10 とその騰落率の検証

対象：日本株、米国株、投資信託

検証期間：2025 年最初の取引日終値と 2025 年最後の取引日終値で比較

(日本株、投資信託は 2025 年 1 月 6 日と 12 月 30 日、米国株は 2025 年 1 月 2 日と 12 月 31 日)

※ 騰落率について

騰落率とは、二つの時点の価格を比較して、何%上昇したか(または何%下落したか)を表す指標のことです。

### 2-1 2025 年 NISA 口座で購入された銘柄人気ランキング（日本株・口座数ベース）

[参考騰落率：日経平均 +28%、TOPIX +23.6%]

人気	銘柄コード	銘柄名	騰落率	2024年順位	推移
1	9432	NTT	0.4%	1	-
2	9434	ソフトバンク	9.5%	3	▲
3	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	34.2%	2	▼
4	8058	三菱商事	38.5%	5	▲
5	7203	トヨタ自動車	11.5%	4	▼
6	8698	マネックスグループ	-22.3%	25	▲
7	8729	ソニーフィナンシャルグループ	-	-	-
8	1605	I N P E X	56.0%	12	▲
9	7272	ヤマハ発動機	-13.7%	21	▲
10	8593	三菱HCキャピタル	25.6%	9	▼

※ソニーフィナンシャルグループは2025年9月29日に再上場

COPYRIGHT © MONEX, Inc.



2023 年に株式分割を行い、2025 年 7 月 1 日に社名変更となった NTT (元日本電信電話) が多くの投資家の間で買われる傾向が続いている。配当利回りの高い銘柄が変わらず人気となっていますが、2025 年 9 月 29 日に再上場したソニーフィナンシャルグループもランクインしています。

## 2-2 2025年NISA口座で購入された銘柄人気ランキング（米国株・口座数ベース）

[参考騰落率：NYダウ平均 +13.3%、S&P500 +16.6%]

人気	ティッcker シンボル	銘柄名	騰落率	2024年順位	推移
1	NVDA	エヌビディア	34.8%	1	-
2	PLTR	パランティア・テクノロジーズ	136.4%	12	↗
3	TSLA	テスラ	18.6%	2	↘
4	PFE	ファイザー	-6.1%	16	↗
5	VZ	ベライゾン・コミュニケーションズ	1.3%	9	↗
6	AAPL	アップル	11.5%	3	↘
7	VYM	バンガード・米国高配当株式ETF	12.5%	6	↘
8	SPYD	SPDR®ポートフォリオS&P500®高配当株式ETF	0.3%	8	-
9	MSFT	マイクロソフト	15.5%	4	↘
10	KO	コカ・コーラ	13.0%	10	-

COPYRIGHT © MONEX, Inc.



半導体バブルが続き、一年を通じてエヌビディアの圧倒的人気は変わらず、となりました。株価の上昇とともに人気も上がりランク外から上がってきたパランティア・テクノロジーズは2025年の騰落率が136.4%となっています。ランキングは上下しているものの、県外と入れ替わった銘柄は2銘柄のみであり、旧来有名・人気だった銘柄への投資傾向が続いています。

## 2-3 2025年NISA口座で購入された銘柄人気ランキング（投資信託・口座数ベース）

人気	銘柄名（成長投資枠）	騰落率	人気	銘柄名（つみたて投資枠）	騰落率
1	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	16.5%	1	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	16.5%
2	eMAXIS Slim オール・カントリー	21.4%	2	eMAXIS Slim オール・カントリー	21.4%
3	iFreeNEXT インド株	2.8%	3	iFree S&P500	16.3%
4	iFreeNEXT FANG+	17.8%	4	iFree 8資産均等型	15.6%
5	三菱UFJ 純金ファンド	63.8%	5	iFree 日経225	30.3%
6	eMAXIS Slim 国内株式（TOPIX）	26.6%	6	iFreeNEXT FANG+	17.8%
7	日経平均高配当利回り株ファンド	17.7%	7	ひふみプラス	20.6%
8	ニッセイ NASDAQ100	19.3%	8	eMAXIS Slim 国内株式（TOPIX）	26.6%
9	HSBC インド・インフラ株式	-6.9%	9	iFree 外国株式ヘッジなし	19.7%
10	日経225ノーロードオープン	29.5%	10	eMAXIS Slim 先進国株式	19.9%

COPYRIGHT © MONEX, Inc.



「eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）」と「eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）」への人気偏重は続いている。成長投資枠では、つみたて投資枠で購入ができないものの騰落率が63.8%と非常に注目を集める金ファンドや長期的な成長が期待されているファンドの人気が見て取れます。つみたて投資枠で「iFree S&P500 インデックス」をはじ

めとしたiFreeの銘柄が多くランクインしているのは2024年1月のイオン銀行からの口座移管のお客様の積立設定が引き継がれていることが要因として挙げられます。日経平均株価の高まりに伴い、日経平均やTOPIXの指標に連動する投資信託に人気が集まっていることも確認できます。

#### 【マネックス証券のNISA】



マネックスの全力NISAシリーズ  
**NISAつみたて  
わくわくプログラム**

■ 「マネックスの全力NISAシリーズ」について  
マネックス証券ではNISA口座を中心に、お客様の資産形成を応援するための取組みをシリーズ化して提供しています。

全力NISAシリーズ新施策追加!

毎月**500名様**に  
**1万円**が当たる!  
**NISAつみたて  
わくわくプログラム**

お客様の移管手続きを  
支援します  
**移管手数料全額  
キャッシュバック  
キャンペーン2025**

**NISA口座における  
中国株の  
売買手数料の  
無料化**

マネックス証券のNISAの魅力

よりシンプルに  
使いやすくなります  
**米国株取引  
サービスの  
リニューアル**

取り扱い商品  
**全て**が対象!  
**NISA  
売買手数料が  
無料**(※)

海外転勤でも  
NISAを継続!  
**出国時の  
NISA口座  
継続対応**

毎月の積立て  
ポイントが貯まる!  
**クレカ積立て  
最大還元率  
3.1%**

d払いアプリで  
気軽に投信つみたて  
**かんたん  
資産運用  
サービス**

コツコツ資産形成  
**日本株積立て  
米国株定期買付**

#### <2025年9月以降のNISA新規施策>

##### (1) NISAつみたてわくわくプログラム

NISA口座で投資信託の積立て(月間合計3万円以上)を行ったお客様の中から、毎月、抽選で500名様に現金10,000円をプレゼントするプログラムです。(要エントリー)  
積立てを行ったお客様のうち、NISA口座で以下の取引を行ったお客様は当選確率がアップ

plash、すべての対象取引を行うと当選確率は最大5倍になります。

<対象取引>

- ・日本株現物買付（単元未満株除く）
- ・米国株現物買付
- ・マネックス・アクティビスト・ファンド（愛称：日本の未来）買付
- ・ON COMPASS 買付

実施期間：2025年10月1日（水）～2026年9月30日（水）（予定）

**(2) 移管手数料キャッシュバックキャンペーン 2025**

マネックス証券への投資信託・日本株の移管入庫を完了し、エントリー受付期間内に領収書を提出いただいたお客様に対し、移管元金融機関へ支払った出庫手数料（税込）をそれぞれ全額キャッシュバックします。（要エントリー）

キャンペーン期間：2025年10月1日（水）～2025年12月30日（火）（予定）

**(3) NISA 口座における中国株の売買手数料の無料化**

NISA 口座での中国株の売買手数料はキャッシュバック形式で実質無料としていましたが、2025年9月1日（月）約定分より完全無料としました。

<マネックス証券のNISAの魅力>

**(1) 米国株取引サービスのリニューアル（2026年2月17日予定）**

米国株取引サービスを全面リニューアルします。

今回の全面リニューアルは、よりシンプルで使いやすい取引環境を提供することを目的として実施します。現在ご好評をいただいている充実の機能・サービスはそのままに、お客様からお寄せいただいたご意見を反映し、画面デザインや取引ステップを徹底的に見直し、資金移動や残高の反映処理なども早めています。

**(2) NISA の売買手数料が無料（※）**

マネックス証券のNISAでは、取り扱う全ての商品の売買手数料が無料です。

<マネックス証券のNISAの売買手数料>

	日本株 (現物取引)	日本株 (単元未満株取引)	米国株	中国株	投資信託
買付	無料	無料	全額 キャッシュバック	無料	無料
売却	無料	全額 キャッシュバック	全額 キャッシュバック	無料	無料

※ 日本株、米国株、中国株についてNISAで取引可能なのは現物取引です。また、米国株（国内取引手数料）、ワン株（単元未満株）の売却手数料はキャッシュバック形式で実質無料です。IFAサービス（マネックスPBを含む）をお申込みのお客様は手数料体系が異なります。詳細はIFA担当者へお問合せください。

### (3) 出国時の NISA 口座継続対応

海外転勤などの事由による出国で、一定の条件を満たす場合、NISA 口座の継続を可能とする制度に対応しています。届け出を行うことにより、NISA 口座の閉鎖、課税口座への払い出しなどをせずに NISA 口座を継続保有することができます。

### (4) クレカ積立還元率最大 3.1%

クレジットカードを利用して投資信託の積立（クレカ積立）ができます。「d カード®」または「マネックスカード」が利用でき、毎月 10 万円まで積立が可能で、NISA 口座も利用可能です。毎月の積立額に対してポイントが還元されるため、おトクに資産形成が行えます。

#### <d カード積立>

- 投資信託の積立を d カードで行うことができます。
- ・毎月の積立額に対して最大 3.1% の d ポイントを還元
  - ・キャンペーン期間中は最大 10% の d ポイントを還元

キャンペーンの詳細：<https://monex.docomo.ne.jp/campaign/dcard2409/index.html>

※ NTT ドコモのウェブサイトに遷移します。

#### <マネックスカード積立>

投資信託の積立をマネックスカードで行うことができます。

- ・毎月の積立額に対して最大 1.1% のマネックスポイントを還元
- ・ショッピングのご利用金額に応じて 1.0% のマネックスポイントを還元
- ・即時出金サービスが月 5 回まで実質無料（キャッシュバック）

### (5) 「かんたん資産運用」サービス

ドコモが提供するスマートフォンアプリ「d 払い®」上で、口座開設から投信つみたてが可能になる「かんたん資産運用」のサービス提供を 2025 年 7 月 31 日（木）から開始しました。

「かんたん資産運用」で取扱う投資信託は、NISA のつみたて投資枠に選定されている長期・分散投資に適した銘柄に限定しているため、これから投資を始める方にピッタリなサービスとなっています。

### (6) 定期買付サービス

#### ・日本株積立（定期買付サービス）

少額から国内株式の積み立てを行えるサービスです。単元未満株（ワン株）と 1 株単位の ETF 等（ETN,REIT 含む）の国内株式を毎月決まったタイミングで定期買付できるサービスで、1 株から積立でき、NISA 成長投資枠を利用した買付も可能です。

#### ・米国株定期買付サービス（毎月買付）

米国株定期買付サービス（配当金再投資・毎月買付）

お客様が選択した毎月の日付・および賞与月の日付において、指定した銘柄につき、指定した金額を上限に買付、または配当金が支払われた場合に買付を行うサービスです。NISA 成長投資枠を利用して米国株式・ETF を買付した場合、売却益や国内配当金が非課税になります。

以 上

\* 「d アカウント」「d カード」は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

**【マネックス証券株式会社について】**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産等取引業協会、

一般社団法人 日本投資顧問業協会